

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	国内都市交流事業				事業番号	008-031	
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	文化課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	無		現状値	—		目標値	—			
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう		ターゲット	17.14 ,17.16		
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			昭和 61 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			—						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	東吉野村、種子島（西之表市、中種子町、南種子町）、田辺市と相互交流。	対象数	単位
			5	市町村
7	事業の目的	行政各分野における、本市と国内友好都市等との交流を深めることにより、お互いのまちの発展に資することを目的とする。		
8	事業内容	○本市行事等への受入 ・東吉野村小学生社会見学 ・堺まつりへの招待 ○友好都市行事への参加 ・種子島鉄砲まつり ・東吉野まるごとフェスティバル ・田辺市20周年記念式典 ・田辺農林水産業まつり		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	—		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	国内友好都市の交流を深める						
	当該目標を設定した理由	国内友好都市の交流を深め、互いのまちを発展させるため。					
	目標に対する実績	令和7年度も各友好都市との交流を深めた。					
12	活動指標	単位		実績	目標		
	各国内友好都市との交流		目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			実績値	5	5	5	
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	各友好都市との人的交流を継続させることで、交流を深めることができるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各国内友好都市の祭り及び堺まつり、東吉野村の社会見学等、交流した都市数を計上した。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国内都市交流事業	事業番号	008-031
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	175	222	306	156	456
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	175	222	306	156	456
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	985	1,032	1,146	996	1,326

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	普通旅費	決算	149	149		決算				
		予算	260	260		予算				
	通信運搬費	決算	5	5		決算				
		予算	17	17		予算				
	有料道路通行料	決算	2	2		決算				
		予算	19	19		予算				
	堺まつり観光案内施設入場料	決算	0	0		決算				
		予算	10	10		予算				
	東大寺サミット開催負担金 （2年に1度開催）	決算	0	0		決算				
		予算	150	150		予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	① 各国内友好都市との交流		市町村	5	5
	② 上記①にかかる年間経費		千円	222	156
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	44,400	31,200
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	各友好都市の行事への参加及び受入事業を通じて交流機会を確保し、都市間の関係強化を図った。 また、2年に1度開催される東大寺サミットの開催がない年度であったことから年間経費が減少し、その結果、単位当たり経費が抑制されるなど、費用対効果の改善が認められた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・各友好都市との相互訪問や受入事業により交流機会を確保し、関係性の維持及び強化に寄与した。 ・東吉野村の小学生の社会見学の受入れや、大仙公園における「東吉野村まるごとフェア」の開催への協力、堺おもてなし茶会における田辺市産備長炭の活用など、各都市の特色を生かした取組により、相互理解の促進及び交流の質の向上が図られ、都市間交流の推進に寄与した。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、友好都市との相互交流により関係性の維持及び強化を図るものであり、継続的に実施する必要性が高い。近年においては、大仙公園における「東吉野村まるごとフェア」への開催協力や、堺おもてなし茶会における田辺市産備長炭の活用、種子島（西之表市）の小学生と本市小学生とのオンライン交流など、新たな取組も展開している。これらの取組により、交流内容の充実及び相互理解の促進が図られており、本事業の有効性は認められる。
	有効性	■ 高い □ 低い	